

再整備事業コンセプトの背景とコンセプト (案)

将来構想のポイント

将来像

“岡山市場らしさ”を創造し、磨き上げる
～「オール岡山市場」でチャレンジ!!～

- 市場機能は将来にわたって必要不可欠
- 市場規模のコンパクト化、独自性を活かした集荷・販売、まちづくり等を推進
- 未来を創造する新しいチャレンジを「オール岡山市場」で推進

岡山市場の再整備事業のポイント

- 持続的な市場経営に向けては、再整備によって機能強化を図る一方で、再整備後の使用料負担が過度に大きくならないよう、総事業費を抑制する必要がある。
- 周辺他市場で同様に再整備が進められてるなかで、岡山市場の競争力を高めるために、可能な限り早期に、再整備を完了することが望ましい。
- 再整備事業の推進にあたっては、場内事業者をはじめとする市場関係者との密な対話を重ね、丁寧に合意形成を図ることを前提とする。

再整備事業コンセプト(案)

機能

岡山の豊かなくらしをつなぐ施設・機能の整備

- 「**産地・販売先**」に選ばれる食料流通拠点機能の強化(品質管理、コールドチェーン、加工、転配送等)
- 「**市場関係者**」の働きやすさを高める施設の整備・運用(動線、DX、ユニバーサルデザイン等)
- 「**市民**」に開かれたまちづくり機能の整備(食をテーマとした賑わい・教育、防災等)

つなぐ市場、つづく未来へ。
～岡山市場再整備～

手法

未来へつづく持続性の追求

- 将来取扱数量に即した**施設の適正化・コンパクト化**
- **余剰地活用**を含む様々な事業手法・民間活力導入の可能性を検討
- 将来の社会環境変化に対応できる、**可変性・拡張性**のある施設整備を推進

プロセス

最短距離での再整備の実現

- 目標となる事業費・使用料水準を関係者間で共有し、**実現可能な再整備計画**を検討
- 事業全体の**工期の短縮を重視**し、再整備事業の早期完了を実現
- 開設者と市場関係者間の**密な対話・合意形成**

第1回岡山市市場再整備検討委員会 再整備事業コンセプト(案)

参考:農林水産省「今後の卸売市場整備の方向性骨子(令和7年3月改訂)」

- 卸売市場流通の付加価値を高め、その活性化を図るためには、物流効率化を実現する施設整備や、品質向上を可能とするコールドチェーンの確保など卸売市場の機能強化が急務である。
- その際、将来の需要予測、費用負担も考慮しつつ、施設利用者で合意形成を図り、物流効率化に必要な施設利用のルール設定やデジタル化を進めるとともに、施設利用者が行う施設整備との連携や事業協同組合等による共同利用施設の整備の促進等についても検討していく必要がある。
- 市場内の事業者同士の連携・役割分担はもとより、運送事業者や他市場の事業者との連携・役割分担、さらには複数事業者間での事業再編も含めた検討を促進することが重要となる。
- さらに、昨今の建築資材価格高騰や労働力不足等に起因する建設コストの上昇傾向も踏まえ、重厚長大型ではなく、シンプルでコンパクトな、コストパフォーマンスの高い施設の整備を目指すという選択肢についても検討する必要がある。

<農林水産省「今後の卸売市場整備の方向性骨子(令和7年3月改訂)」における整備の方向性のポイント>

物流効率化	■ 物流動線の効率化／荷下ろし場所の確保／パレチゼーション／分荷の効率化／施設の共同利用化／中継共同輸送／モーダルシフトに対応した拠点
品質・衛生管理の高度化	■ コールドチェーン(低温流通)の確保／在庫管理機能の強化／HACCP等への対応
付加価値向上・新需要への対応	■ 加工施設等の充実／輸出拡大／選果・選別施設の充実／貯蔵保管機能の強化
新技術の活用	■ 検品・荷役作業の自動化・省力化／物流DX ■ 例:RFIDタグ付のパレット等の活用、AGV(無人搬送車)等の自動搬送システムの活用
防災・環境対応	■ 施設の耐震化、耐水化、耐風化／非常用電源設備の整備 ■ EVトラック等の充電が可能な給電設備の設置／バイオマス発電、再利用施設の整備
コストパフォーマンスの向上	■ 既存施設の改修・増築／設計、施工、発注方法の工夫／事業者による施設整備／将来の利用の変化を見通した施設整備